

1 単元について

対 象 学 年	小学校 第2学年
学 習 指 導 要 領	(3)(5)(7)
単 元 名	「大きく 大きく 大きくなったね」 (全15時間)
単 元 目 標	<p>地域の名人先生に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げ、豊かにすることができる。また大きく育ったさつまいもに関心をもち、大切に扱いながら、収穫の喜び、お世話になった人々への感謝の気持ちを込めて、会を計画し、名人先生とかかわりを深めることができる。 (生活への関心・意欲・態度)</p> <p>地域の名人先生に話を聞いたり教えていただいたりして、地域の人と適切にかかわることができる。また、世話の苦労や工夫、収穫の喜びや感謝の気持ちを表した楽しむ会を考え、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。 (活動や体験についての思考・表現)</p> <p>地域には素晴らしい知恵をもった人がたくさんいて、上手に接して生活すると楽しいことに気付くことができる。また、さつまいもの成長や季節の変化に気づき、上手に世話ができるようになったことに気付くことができる。 (身近な環境や自分についての気づき)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春に、さつまいもの苗を植える活動を行ったときに教えていただいた地域先生とのかかわりを繰り返し、身近な人々への適切なかかわり方を身に付けさせ、身近な人々とのかかわりがより深まるように、児童の思いや願いが発展していくよう単元の指導計画を立案する。 ・収穫できた喜びから、自分がかんばって世話をしたことやお世話になった方々への感謝の気持ちを育てていく。その過程において、思いをふくらませ、ふれあいの会を自分たちで企画、実行していくよう単元を仕組む。 ・収穫できた喜びや、調理できた喜びを身近な人々に伝える場の設定をすることで、児童が自分自身の成長に気付くようにする。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた学習指導を充実し基礎的・基本的な内容の確実な定着を促すために、児童相互がかかわり合う状況を以下の点に留意して構成する。 児童の実態を考えた活動グループの構成 学習過程での情報交換の場の設定 ・地域先生に活動を援助してもらった場面では、児童からかかわりがもてるようにするために、かかわり方の方向性を示したり、地域先生と指導の構えについて十分な打ち合わせをしたりする。 <p>教師の指導・援助とねらいの明確化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の学習過程が見届けられるように学習集団の規模と活動内容の種類に留意し指導にあたる。またじっくりと対象とかかわることのできる時間と場の設定など、児童の活動を支える環境構成を工夫したり、地域先生の適切な助言が得られるようにしたりする。
参 考 資 料	

2 単元の評価規準

【学習指導要領の内容】 (3)「地域と生活」
 自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみを持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

【学習指導要領の内容】 (5)「季節の変化と生活」
 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

【学習指導要領の内容】 (7)「動植物の飼育・栽培」
 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。

	ア生活への関心・意欲・態度	イ活動や体験についての思考・表現	ウ身近な環境や自分についての気付き
内容とのま評と価 ま規 り準 (3)	地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げようとしている。	地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考え、それを表現することができる。	自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわりをもっていることが分かっている。
内容とのま評と価 ま規 り準 (5)	身近な自然を観察したり季節や地域の行事にかかわる活動をしたりしようとしている。	四季の変化や季節に応じて、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。	四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持っている。
内容とのま評と価 ま規 り準 (7)	生き物やそれらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、親しんだり大切にしたりしようとしている。	工夫して動物を飼ったり植物を育てたりするとともに、世話をしたことや、生き物のことなどについて表現することができる。	動植物は生命をもっていることや成長していること、動植物の世話の仕方などに気付きを持っている。
単 元 の 評 価 規 準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の名人先生に親しみをもってかかわり、自分の生活を広げ、豊かにしようとしている。 ・ 収穫の喜び、お世話になった人々への感謝の気持ちを込めて、楽しむ会を計画し、名人先生とかかわりを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の名人先生に話を聞いたり教えていただいたりして、地域の人と適切にかかわることができる。 ・ 収穫の喜びや感謝の気持ちを表した楽しむ会を考え、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。 ・ 世話の苦労や工夫、収穫 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域には素晴らしい知恵をもった人がたくさんいて、上手に接して生活すると楽しいことに気付いている。 ・ さつまいもの成長の様子や季節の変化に関心を持っている。 ・ さつまいもへの親しみが増し、上手に世話ができ

	<ul style="list-style-type: none"> ・大きく育ったさつまいもに関心を持ち、大切に扱おうとしている。 	<p>して感じたこと等を表現することができる。</p>	<p>るようになったことに気付いている。</p>
<p>活動内容における評価規準</p>	<p>育ててきたさつまいもがどうなっているかに関心を寄せながら、ていねいに掘っている。</p> <p>収穫したさつまいもで、楽しむ会を考えようとする。</p> <p>調べたことをもとに、意欲的に料理の計画を立てている。</p> <p>地域の名人先生やお世話になった方とかかわりを深め、さらに生活を豊かにしようとしている。</p> <p>これまでお世話になった人への感謝の気持ちをもって招待状を作ろうとする。</p> <p>お世話になった方と楽しんで会話をしながら活動しようとしている。</p>	<p>いもを傷つけないようにほりかたを考えながら収穫することができる。</p> <p>収穫してうれしかったこと、気付いたことなどを話すことができる。</p> <p>収穫してうれしかったことや収穫できたさつまいものことを絵や文で表すことができる。</p> <p>楽しむ会を考え、工夫して計画を立てることができる。</p> <p>自分が家で聞いてきたことなどと結びつけながらさつまいも先生に進んでかかわりながら、調理をしようとしている。</p> <p>お迎えする地域の人に応じて、伝える内容や方法を工夫することができる。</p> <p>さつまいもの世話をがんばったこと、分かったこと、うれしかったこと、感謝の気持ちを招待状に表すことができる。</p> <p>お世話になった方にがんばったこと、できるようになったことを工夫して話したり、楽しんでもらえるように適切に接したりすることができる。</p> <p>地域の方にかかわれた自分のよさなどを言葉や絵で分かりやすくまとめることができる。</p>	<p>いもを掘る活動を通して春や夏の様子との違いに気付いている。</p> <p>さつまいもの料理の仕方や、人々の生活とさつまいものかかわりには、いろいろあることに気付いている。</p> <p>できるようになったこと、がんばったことなど、自分のよさに気付いている。</p> <p>地域の名人先生などに伝えたいことをまとめる活動を通して、育てたり、料理したりする中でできることが増えたことを実感する。</p> <p>お世話になった方のことを考えながら、上手に接すると、新しく知ることが増え、さらに楽しくなることに気付いている。</p> <p>さつまいもを育てる苦労や楽しみ、地域の方の素晴らしさに気付いている。</p> <p>育てたり、料理したりする中でできることが増えた自分に気付く。</p>

3 指導と評価の計画（全15時間）

時	ねらい (記号): 10の 視点	学 習 活 動	評価規準と評価方法	指導・援助
1 2 3	さつまいもを収穫し、さつまいもの大きさやつるの長さを調べる活動を通して収穫を喜び合うことができる。 (カ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">大切に育ててきたさつまいもがどうなっているか見付けながら収穫しよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. さつまいもを傷つけないようにていねいに収穫する。 2. 収穫したさつまいもを見せ合い、大きさや形の特徴について交流する。 3. 収穫したさつまいもの重さを比べたり、つるの長さを比べたりする。 4. つるや、道具の片づけをする。 5. 収穫でがんばったことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育ててきたさつまいもがどうなっているかに関心を寄せながら、ていねいに掘っている。 <ア - > (行動観察・つぶやき) ・いもを傷つけないようにほりかたを考えながら収穫することができる。 <イ - > (行動観察・発表の内容) ・いもを掘る活動を通して春や夏の様子との違いに気付いている。 <ウ - > (つぶやき・発表の内容) ・収穫してうれしかったこと、気付いたことなどを話すことができる。 <イ - > (発表の内容) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掘り方を事前に調べてくるなどして、収穫への期待をもたせる。 ・児童が掘る様子を見届け、さつまいもに親しみをもって活動する姿を取り上げ、その思いを引き出し、価値付け広めていく。 ・「さつまいもさんになってお話ししよう」と投げかけ、その中で季節の変化に気付いている児童のつぶやきを価値付ける。
4	収穫の様子を絵や文で表し、収穫を祝う会への願いをもつことができる。 (オ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">収穫したさつまいもで、発見したことを交流し合い、収穫のお祝いしよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収穫の様子を絵や文で表す。 2. 収穫したさつまいもで、どんなお祝いの会ができるか話し合う。 3. さつまいもを育てることを通して、できるようになったことや、お世話になった地域の人に感謝の気持ちを表す会にすることを確かめ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したさつまいもで、楽しむ会を考えようとする。 <ア - > (つぶやき・発言の内容) ・収穫してうれしかったことや収穫できたさつまいものことを絵や文で表すことができる。 <イ - > (作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なるお楽しみ会にならないように、工夫して育てたり、がんばって世話をしたりしたことと収穫できたこととを結びつけて、どんな会にすると相応しいか考えさせる。 ・常に、さつまいもと自分とのかかわりで考えるように問いかけをする。
5 6	収穫したさつまいもの料理の仕方を考えたり調べたりしながら、喜び合う会を作ろうという意欲を高めることができる。 (エ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. さつまいもの料理について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">みんなで楽しく、安全にできるさつまいも料理の計画を立てよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 2. これまでの経験を生かしてさつまいもの食べ方を工夫する。 3. 作るもの別のチームを決めて、必要な材料や手順を考えたり調べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに、意欲的に料理の計画を立てている。 <ア - > (グループでの話し合いの内容) ・楽しむ会を考え、工夫して計画を立てることができる。 <イ - > (グループでの話し合いの内容) ・さつまいもの料理の仕方や、人々の生活とさつまいもとのかかわりには、いろいろあることに気付いている。 <ウ - > (振り返りの内容) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家で聞いてきたことや、教師が準備した本などを活用するよう助言する。 ・さつまいもの料理の写真を準備し、必要に応じて提示する。 ・調べ学習での児童の実態を事前に把握しておき、料理の仕方だけでなく、人々の生活とさつまいもとのかかわり

				について調べてきた児童の話を広める。
7 8 9	「さつまいも先生」に教えてもらいながら、安全に気をつけ、おやつ作りに取り組むことができる。 (イ)(コ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">協力して、自分たちの立てためあてに沿ってさつまいものおやつ作りをしよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. さつまいもをていねいに水洗いする。 2. 「蒸し器」「オーブントースター」「フライパン」など必要な道具をそろえる。 3. めあて、手順、道具類の確認をする。 4. 計画にしたがって、おやつ作りをする。 5. さつまいもの世話やおやつ作りでがんばったことを交流しながらチームごとにおやつを味わう。 6. できるようになったこと、がんばったことを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が家で聞いてきたことなどと結びつけながらさつまいも先生に進んでかわりながら、調理をしようとしている。 <イ - > (行動観察・つぶやき) ・できるようになったこと、がんばったことなど、自分のよさに気付いている <ウ - > (つぶやき・発言の内容) 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも先生とのかかわりのよさに気付くよう価値付ける。 ・事前に調べ学習について把握しておき、さつまいも先生に尋ねるよう促す。 ・児童に任せること、地域の先生にやっていたこと、児童に援助していただくこと、児童のよさを見つけて認めていただくことなどを事前の打ち合わせで明確にしておく。 <p>安全面での配慮を徹底する。</p>
10 本時 11	お世話になった人へ、世話をやがやんばった喜び、感謝の気持ちが伝わるよう工夫し準備することができる。 (エ)(コ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お世話になった地域の人たちに、「大きくなったよ。ありがとう。」を伝える会を開く準備をしよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 育てたり調理をしたりして、うれしかったこと、がんばったことを交流し合う。 2. どんな目的の会にするのか、そのための会の内容について話し合う。 3. グループごとに計画を立てる。 4. グループごとに活動に必要な道具を準備したり、自分で決めた活動をしたりする。 5. グループごとに、お客さんへがんばったことや、できるようになったこと、さつまいもの世話をしていて気が付いたことなどが伝わるように工夫しながら準備する。 6. 今日の活動でがんばったことや工夫したことを全体で交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の名人先生やお世話になった方とかかわりを深め、さらに生活を豊かにしようとしている。 <ア - > (発言・表情) ・お迎えする地域の人に応じて、伝える内容や方法を工夫することができる。 <イ - > (発言・話し合い・作品) ・地域の名人先生などに伝えたいことをまとめる活動を通して、育てたり、料理したりする中でできることが増えたことを実感する。 <ウ - > (つぶやき・行動・作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰を招待するとよいか、生活科の学習と自分とのかかわりの中で、名前を具体的に挙げながら話し合うことを通して、会の内容に発展するように援助する。 ・生活科ファイルで振り返らせたり、教室掲示などを利用したりして、これまでの歩みを振り返る援助をする。 ・教師がお客さんの立場になって聞きながら、工夫する点に気付かせたり、相手意識をもたせたりする援助を行う。 ・できるようになったこと、がんばってうれしかったことなど、児童に問い返したり、児童の発表などから、気付きの自覚化を促したりする。
12	お世話になった人へ、伝えたい	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お世話になった人が、喜んでくださ</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでお世話になった人への感謝の気持ちをもって招待状を作ろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもの世話と、お世話になった方との

	<p>気持ちが伝わるよう工夫して招待状を書ける。 (イ)(オ)</p>	<p>るような招待状を作ろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんな内容で、どんな招待状を作るか話し合う。 2. 役割を分担しながら活動する。 3. がんばったこと、楽しみなことを交流する。 	<p><ア - > (行動観察・招待状)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいもの世話をがんばったこと、分かったこと、うれしかったこと、感謝の気持ちを招待状に表すことができる。 <p><イ - > (発言・招待状)</p>	<p>かかわりを具体的に想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 招待する人のことを考えて話し合ったり活動したりしている児童を認め広める。
<p>13 14</p>	<p>お世話になった人を招待し、これまでががんばってきたことやできてうれしかったこと、分かったことを地域の方に伝え、感謝の気持ちを込めて接することができる。 (イ)(ケ)</p>	<p>できたことやがんばったこと、嬉しかったことを伝えるお祝いの会を開こう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分たちで準備をする。 2. 自分たちで考えたプログラムにしたがってパーティを進める。 3. 自分たちががんばったことを交流する。 4. お客様の感想を聞く。 5. 後かたづけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お世話になった方と楽しんで会話をしながら活動しようとしている。 <ア - > (行動観察・表情) ・ お世話になった方にがんばったこと、できるようになったことを工夫して話したり、楽しんでもらえるように適切に接したりすることができる。 <イ - > (行動観察) ・ お世話になった方のことを考えながら、上手に接すると、新しく知ることが増え、さらに楽しくなることに気付いている。 <ウ - > (発言・ふりかえりカード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「さつまいも先生」に教えていただいたことを思い出しながら活動している児童を認め広める。 ・ 招待した方へのかかわり方のよさを広める。 ・ 児童のそれぞれのよさを地域の方からも話していただけるように事前に打ち合わせしておく。 (本時のねらいに即した点でのよい姿は必ず評価していただくようにする。)
<p>15</p>	<p>これまでの学習を振り返り、さつまいもを育てて調理したり、お礼の会を思い出しながら「さつまいも新聞」にがんばったこと、分かったこと、うれしかったことなどをまとめることができる。 (オ)(ケ)</p>	<p>さつまいものことを新聞にまとめよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの活動でがんばったこと、うれしかったこと、できるようになったこと、気付いたことを発表し合う。 2. 今までの学習カードを使いながら「さつまいも新聞」にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方にかかわれた自分のよさなどを言葉や絵で分かりやすくまとめることができる。 <イ - > (発言・作品) ・ さつまいもを育てる苦労や楽しみ、地域の方の素晴らしさに気付いている。 <ウ - > (発言・作品) ・ 育てたり、調理したりする中でできることが増えた自分に気付く。 <ウ - > (発言・作品) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の活動の足跡の掲示、各自の生活科ファイルなどを利用して、苗植えのことから振り返るよう援助する。 ・ 自分でできるようになったことが増えたことを実感としてとらえ、自信と意欲につなげられるよう、事前に一人一人の児童の成長を明確にしておき、気付きの自覚化を促す価値付けをする。

<p>振り返る</p>	<p>・作り方を紙芝居にしたいな。</p> <p>5．活動を振り返り、カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次やりたいことを記述する。 ・活動をふりかえり、自己評価する。 <p>6．今日の活動でがんばれたことや工夫したことを全体で交流する。</p>	<p>気付き<ウ - > 地域の名人先生などに伝えたいことをまとめる活動を通して、育てたり、料理したりする中でできることが増えたことを実感する。 (つぶやき・行動・作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自慢したいこととして話している。 ・友だちからもできるようになったことを認めてもらい、喜んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと、がんばってうれしかったことなど、児童に問い返したり、児童の発表などから、気付きの自覚化を促したりする。 <p>環境構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に適切な広さの空間の設定 ・活動場所と気付いたことをメモする場所の設定の工夫 <p>安全面での配慮の徹底 (特に火傷に注意する)</p>
-------------	---	---	---

5 評価の実際と個に応じた指導事例

本時重点的に取り上げた評価規準と評価の方法、児童の実際の姿

<p>本時評価規準に 取り上げた 評価方法</p>	<p>活動や体験についての思考・表現 <イ - > お迎えする地域の人に応じて、伝える内容や方法を工夫することができる。 (発言・話し合い・作品)</p>	<p>身近な環境や自分についての気付き <ウ - > 地域の名人先生などに伝えたいことをまとめる活動を通して、育てたり、料理したりする中でできることが増えたことを実感する。 (つぶやき・行動・作品)</p>
<p>評価の視点</p>	<p>「おおむね満足できる」状況 B ・教えていただいた内容と自分の成長とを結びつけて伝える内容や方法を考えている。 ・教えていただいたことから、自分のさつまいもの世話が変わったこと、がんばったことを伝えようとしている。 ・お世話になった方との今までのかかわりの深さで、相手の方の特徴など意識して活動している。</p>	<p>B ・自慢したいこととして話している。 ・友だちからもできるようになったことを認めてもらい、喜んでいる。</p>
<p>児童の実際の姿</p>	<p>・サツマイモ先生に教えてもらった苗を寝かせる船底植えをやって見せたいな。 <u>色画用紙を使って畑や苗を作ろう。</u> A ・干し芋は昔、保存食で大切だったということを教えてもらったから、そのことをみんなに教えたい。 B ・夏休みに汗だくになって、水やりをがんばったことを伝えたいな。 B ・サツマイモが大きくなる様子を人形劇でやってみたいな。 B ・おいしい干し芋を食べてもらうために、どれだけ焼いたらいいか試してみる。 B ・干し芋の作り方をお話するよ。竹串を使って柔らかくなっているか調べられることや、同じ大きさに切ると干すのに便利だったことを初めて知ったからそのことを伝えたい。 <u>(さつまいもの絵を描き、そこに竹串で穴を開けて通すようにしている。)</u> A</p>	<p>・私のおばあちゃんは歯が弱いと言っていたので、<u>柔らかいものにすると喜んで食べてもらえる</u>と思ったので、オープンでどれくらい焼くと柔らかくなるか順番に試してみたら、1分は少し硬くて、2分は で、3分は・・・。竹串でさして確かめたけど2分がいいと思ったので、会の時には、2分間焼くよ。 <u>順に時間を追って焼いていったこと、発見したことを自慢げに話していた。</u> A</p>

「おおむね満足できる」状況に達していないと判断した児童の姿と指導・援助、その後の変容

この間、おじいさんに戦争中、田舎に疎開をしていて、その時の食べ物はさつまいもばかりだったと聞きました。僕は、お肉が大好きなのでその頃だったら食べられなかったから、そのことを絵と文で伝えたい。

歴史マンガの本を準備、疎開の状況のイラストを見て、ずっと疎開の絵を描いている。この児童にとっては、そのことが自分の中で価値あることだったといえよう。しかし、

田舎へ疎開していた様子のみで終始してしまいそうであったため、Cと判断。



教師の指導・援助

おじいさんの話を聞いて、その時どう思ったの？
前の生活科ファイルを開いてみようか。
その時の活動のノートを開き、一緒に書かれていることを読む。



< 授業の終末時の姿 >

疎開の状況の絵を描くことを一気に済ませ、戦争中は、さつまいもがとっても大事な食べ物だと教えてもらってびっくりしたよ。僕は大好きな肉が食べられなくていやだな。あんまりおいもが好きじゃなかったけれど、大切にしないといけない。 Bと判断